

補修部品／オプション品についてはワイズギアホームページをご覧ください。

URL : <https://www.ysgear.co.jp/mc/helmet/>



ZENITH

HELMETS

取扱説明書

YF9

●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア  **0570-050814** コーワイズ

オープン時間 月曜～金曜(祝日、弊社所定の休日を除く)
9:30～12:00 13:00～17:00

◎一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。
◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。
◎音声アナウンスに沿って担当部署をお選びください。

〒437-0061 静岡県袋井市久能3001-8 FAX. 0538-31-2101

輸入元 ヤマハ発動機株式会社 カスタマーエクスペリエンス事業部 SCM部
静岡県袋井市久能3001-8

製造元 HJC VINA LIMITED COMPANY
Khai Quang Industrial Zone, Khai Quang Ward, Vinh Yen City, Vinh Phuc Province, Vietnam
2021.12 Made in Vietnam

ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、ヤマハヘルメットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品の正しい取扱方法について説明してあります。ご使用になる前に本書を必ずよくお読みいただき、安全に快適なバイクライフをお楽しみください。また、本製品独自の機能や取扱方法がありますので、ヘルメットの取り扱いに慣れた方も必ずお読みください。読み終わったあとは、必ず保管してください。

この商品は日本国内の規格に適合しています。

ご使用になる前に必ずお読みください	2
ヘルメットの保護能力には限度があります	2
必ず守っていただきたい注意事項	3、4
色付きシールド及びサンバイザー使用上の注意事項	4
ヘルメットボックスに収納するときの注意	4
ヘルメットの保管について	4
内装取り扱いの注意事項	5
つや消し塗装の汚れの取りかた	5
推奨ヘルメットケミカル剤一覧表	5
シールド及びサンバイザー取り扱いの注意事項	6
SGマーク・PSCマークについて	7
あごひもの取り扱い	8
■ あごひもの留めかた	8
■ あごひもの外しかたと調節	8
ベンチレーションの取り扱い	9
■ ベンチレーションの開閉	9
内装の取り扱い	10
■ 内装の取り外し	10~11
■ 内装の取り付け	12~14
シールドの取り扱い	15
■ シールドの開閉	15
■ シールドの取り外し	16
■ シールドの取り付け	17
サンバイザーの取り扱い	18
■ サンバイザーの取り扱い	18
■ サンバイザーの取り外し	19
■ サンバイザーの取り付け	20
ブレスガードの取り扱い	21
■ ブレスガードの取り外し	21
■ ブレスガードの取り付け	21

本書では正しい取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

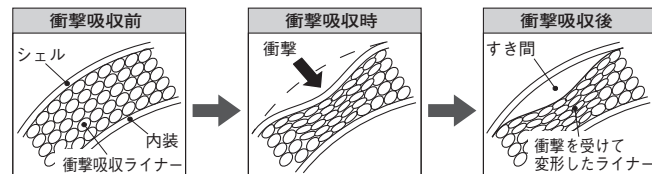
警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注意 取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要点 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

警告 ヘルメットの保護能力には限度があります

- ヤマハヘルメットは国の定める安全基準に適合していますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全ということではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒のときに、外部からの衝撃を軽減するものです。
- ヘルメットは購入後3年で交換してください。正常に使用しても目に見えない部品の劣化が進み、性能は低下していきます。購入後3年を過ぎたヘルメットは、衝撃を受けたときに性能を充分発揮できない恐れがあります。早めの交換をお勧めします。
- 大きな衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください。ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けたあとは、外観上損傷がなくてもライナーが変形している場合があります。変形した場合、再度衝撃を受けたときにエネルギーを吸収できず、重大なけがにつながる恐れがあります。



- 頭のサイズに合ったヘルメットを使用してください。大きすぎるヘルメットは、走行中にぐらつくため危険です。また、小さすぎるヘルメットは、頭を締め付けるため痛くなることがあります。

⚠ 警告 必ず守っていただきたい注意事項

- 使用前点検を必ず実施してください。
シールド、内装、サンバイザー等の構成部品が正しく取り付けられていないと、走行中にシールドまたは内装が外れるなど運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。シールド、内装、サンバイザー等が確実に固定されているか確認してから使用してください。
- あごひもは緩みがないように長さを調節し、正しく留めてください。
あごひもの長さが調節されていない、または正しく留められていないと、走行中にヘルメットがずれたり、万一転倒したときにヘルメットが脱げて、頭が保護されず、重大なけがにつながる恐れがあります。
- ワンタッチバックルに異物等が混入した状態で使用しないでください。
- 汚れや傷の付いたシールドで走行しないでください。
視野の妨げとなり、大変危険です。汚れている場合は汚れを除去し、傷が付いている場合は交換してください。
- 走行中の環境変化に注意してください。
突然の雨や急激な温度変化によってシールドがくもり、視界不良で思わぬ事故につながる恐れがあります。環境変化が予測されるときは、走行前にシールドの開度を調節し、速度を落として走行してください。
- ヘルメットを車両のホルダーに付けたまま走行しないでください。
運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。また、ヘルメットに傷が付く恐れがあります。
- ヘルメット塗装面・衝撃吸収ライナー・パーツ類に接着剤・シンナー・ガソリン等をつけないでください。また、直射日光のあたる車内や、暖房機の近くなど高温になる場所に長時間放置しないでください。
シェルや衝撃吸収ライナーが変形し、衝撃吸収力が著しく低下する恐れがあります。
- シールド可動部（ヘルメットメカ機構部等含む）に金属製品用潤滑剤やクリーナーを使用しないでください。
素材が侵され破損する恐れがあります。
- 改造は絶対にしないでください。
ヘルメットに穴を空けたり、削ったりすると性能が損なわれ、十分に保護能力が発揮できない恐れがあります。

⚠ 警告 色付きシールド及びサンバイザー使用上の注意事項

- トンネル及び夜間走行の注意
スモーク・ミラー加工等を施したシールドでトンネルや夜間を走行するとき、シールドやサンバイザーを上げるか標準のシールドに交換してください。視認力の低下を招き、思わぬ事故につながる恐れがあります。

注意 必ず守っていただきたい注意事項

- ヘルメットの清掃は、薄めた中性洗剤を使用してください。
熱湯（50℃以上）・塩水・ベンジン・シンナー・ガソリン等を使用すると、ヘルメットが損傷する恐れがあります。清掃するときは、薄めた中性洗剤を使用し、柔らかい布でふき取ってください。
- ヘルメットを持ち運ぶときは、外装かあごひもを持ってください。
内装やシールドを持つと、ヘルメットが落下する恐れがあります。

注意 ヘルメットボックスに収納するときの注意

ヘルメットボックスにヘルメットを収納するときは、下に押し付けたり中で回転させたりしないでください。部品が外れる恐れがあります。

※ヘルメットに取り付けてある部品は、規格上（JIS規格／SG規格）転倒等の衝撃を受けたときに容易に外れるように、両面テープ等で固定されています。

注意 ヘルメットの保管について

- ヘルメットを直射光線の当たる場所に保管しないでください。直射光線により、塗装が変色する場合があります。

注意 内装取り扱いの注意事項

雨天走行や汗等で内装が汚れたときは、内装を取り外して洗うことができます。内装を洗うときは、中性洗剤を使用し、ぬるま湯でやさしく押し洗いしてください。洗ったあとは真水で十分にすすぎます。洗い上がった後、風通しのよい場所で陰干しします。乾燥させるためにヘアドライヤーなどは使わないでください。

要 点 つや消し塗装の汚れの取りかた

当社推奨ケミカル剤（マットカラー専用クリーナー）を使用するか、薄めた中性洗剤を使用して洗い流してください。

推奨ヘルメットケミカル剤一覧表^{*1}

部位	商品名称	品番	効果
シェル 外装 小部品	ヘルメットクリーナー &ワックス	90793-40092	つや有り塗装などの一般的な塗装用のクリーナーです。シェルや外装小部品の汚れ、水あか、小キズを除去し、光沢を与えます。
	マットカラー専用 クリーナー 67ml	90793-40111	つや消し塗装専用クリーナーです。指紋、油脂汚れを簡単に除去でき、撥水効果もあります。
	マットカラー専用 クリーナー 200ml	90793-40112	
内装	ヘルメット消臭剤	90793-40095	除菌、消臭し、悪臭の発生を防ぎます。
シールド ※2	ヘルメットシールド 撥水剤	90793-40090	雨天時のシールド面の水滴を強力にはじきま
	ヘルメットシールド くもり止め	90793-40091	シールド内側のくもりを防ぎ、クリアな視
	ヘルメットシールド クリーナー	90793-40094	シールドの汚れを落とし、視界をクリアに保ち
	シールドケミカル セット	90793-40099	ヘルメットシールド撥水剤、ヘルメットシールドくもり止め、ヘルメットシールドクリーナーを3本セットにしたお得品。
	虫とりクリーナー	90793-40104	シールド等に付着した虫の汚れを素早く除去し、クリアな視界を確保します。

*1：ケミカル剤の一覧表は2021年12月現在のものです。これらの商品は予告なく変更、販売終了されることがあります。最新情報はフェイスギアホームページを参照ください。

*2：ミラーシールドのお手入れにケミカル剤（当社製品を含む）を使用した場合、ミラーコーティングがはがれる恐れがあるため、使用できません。水または薄めた中性洗剤で洗ってください。

注意 シールド及びサンバイザー取り扱いの注意事項

- 乾いた布でふかないでください。
シールドやサンバイザーの汚れを取るときは、水で軽く洗い、柔らかい布でふき取って自然乾燥させてください。強くこすると傷が付く恐れがあります。
- 薄めた中性洗剤以外は使用しないでください。
汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使って洗い流してください。酸性・アルカリ性系の洗剤及び有機溶剤^{*1}等は絶対に使用しないでください。シールドの割れ、蒸着メッキ膜のはく離の原因となります。
※1：ガソリン・シンナー・ブレーキオイル・市販の撥水剤・くもり止め・ブレーキ等のクリーナー



SGマークはSafe Goods (安全な製品) の略号で、一般財団法人製品安全協会が定めたものです。構造・材質・使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について安全性品質に関するSG基準を定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。



国は消費生活用製品のうち、構造・材質・使用状況から見て、一般消費者の生命又は身体に対して、特に危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品を「特定製品」として指定しております。「特定製品」の製造を行う事業者は国に届け出を行うとともに、国の定める技術水準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品には「PSC」マーク (Product Safety=製品安全の略号) を表示し、「PSC」マークの表示がされていない「特定製品」の販売を禁じる事としています。

乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い老朽化・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して「購入後3年」との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので十分ご注意ください。

一般財団法人製品安全協会/日本ヘルメット工業会

SGマークの被害者救済制度について

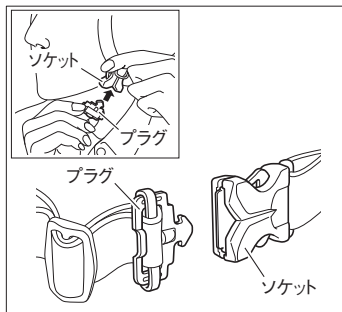
ヘルメットについてのSGマークは、万一ヘルメット (シールド等の付属品は含まない) に欠陥があり一般財団法人製品安全協会の定めるSG基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途 (レース・サーカス等) に用いている際の負傷や、SG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。**製品の欠陥による事故がおきた場合は**

1. 製品の欠陥による事故がおきたら、すぐに一般財団法人製品安全協会へ連絡してください。TEL (03)-5808-3303
2. 「事故発生届」又は「賠償措置実施請求書」を提出してください。(原則として事故発生より60日以内)
3. 事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
4. 以上の調査結果を検討して、賠償するかどうか決定します。

SGマークについてのお問い合わせ先

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2階
一般財団法人製品安全協会 TEL (03)-5808-3303

■ あごひもの留めかた

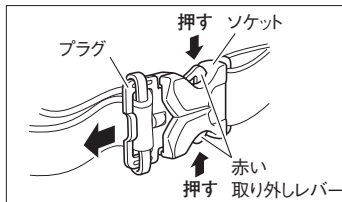


- ①ワンタッチバックルのプラグとソケットの裏表を確認します。
- ②プラグをソケットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

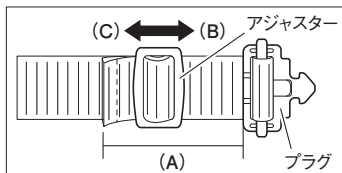
⚠ 警告

あごひもは確実に留めてください。留められていないと、万一転倒したときにヘルメットが脱げてしまい、重大なけがにつながる恐れがあります。

■ あごひもの外しかたと調節



- あごひもの取り外し
ソケットの赤い取り外しレバーを指ではさむように押し、プラグを引き抜きます。

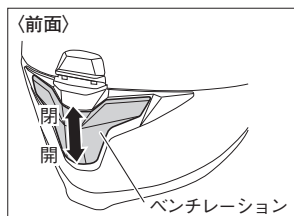


- あごひもの調節
プラグ部のあごひもを緩め、アジャスターをスライドさせて (A) の長さを調節します。
アジャスターを (B) 方向へスライドさせながら (A) の長さを短くするとあごひもが長くなり、(C) 方向へスライドさせながら (A) の長さを長くするとあごひもが短くなります。

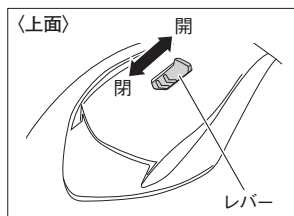
⚠ 警告

- 走行前にあごひもを引っ張り、確実に固定されているか確認してください。固定されていないと、万一転倒したときにヘルメットが脱げてしまい、重大なけがにつながる恐れがあります。
- 走行中にあごひもの脱着や調節をしないでください。運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

■ ベンチレーションの開閉



開けるときは、ベンチレーションを下へスライドさせます。
閉めるときは、ベンチレーションを上へスライドさせます。

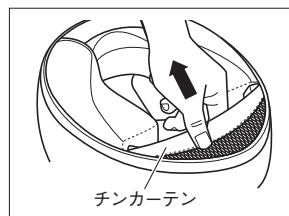


開けるときは、レバーを後ろ方向へスライドさせます。
閉めるときは、レバーを前方向へスライドさせます。

要 点

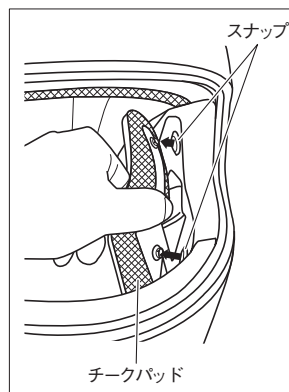
上面のベンチレーションはコンディションに合わせて中間位置の「半開」で止めることも可能です。

■ 内装の取り外し (1/2)

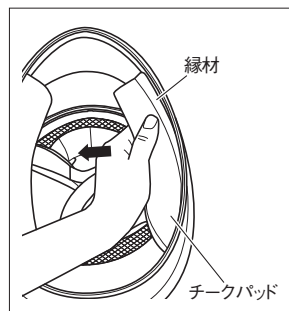


内装を清潔に保つために、チンカーテン・チークパッド・コンフォートライナーは取り外して洗うことができます。

●チンカーテンの取り外し
チンカーテン中央を持ち、ゆっくり縁材を抜き取ります。



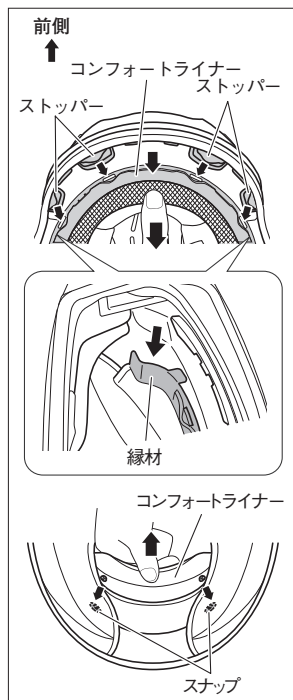
●チークパッドの取り外し
①ヘルメットを押さえながらチークパッドのスナップを3ヶ所外します。



②チークパッドの孔からあごひもを抜き取ります。

③チークパッドの縁材を抜き取ります。

■ 内装の取り外し (2/2)



● コンフォートライナーの取り外し

- ① 両側にある縁材を引き抜きます。
- ② 前側のストップパー（4ヶ所）と後側のスナップ（2ヶ所）を外し、コンフォートライナーをヘルメット本体内部から抜き取ります。

要 点

内装を洗うときは、薄めた中性洗剤で押し洗いし、陰干しをします。

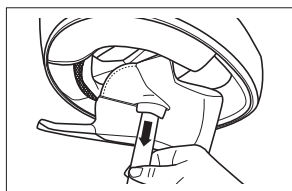
■ 内装の取り付け (1/3)



● コンフォートライナーの取り付け

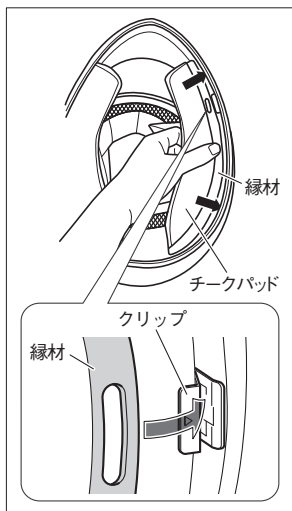
- ① コンフォートライナーの前後を確認し、ヘルメット本体内部に入れます。
- ② コンフォートライナー側面の縁材を、ライナーのすき間に差し込みます。
- ③ 前側のコンフォートライナーは、縁材のストップパー（4ヶ所）を「パチン」と音がするまで押さえ付けます。
- ④ 後ろ側のコンフォートライナーは、スナップ（2ヶ所）を合わせ、「パチン」と音がするまで押さえ付けます。

■ 内装の取り付け (2/3)

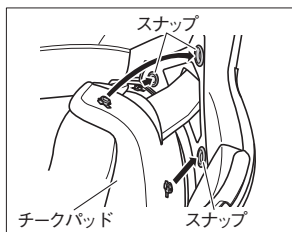


● チークパッドの取り付け

- ① 左右いずれのチークパッドか確認し、チークパッドの孔にあごひもを通します。

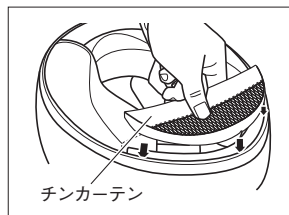


- ② 縁材をシェルとライナーの間にあるクリップに差し込みます。



- ③ チークパッドの3ヶ所のスナップを合わせ、「パチン」と音がするまで押さえ付けます。

■ 内装の取り付け (3/3)



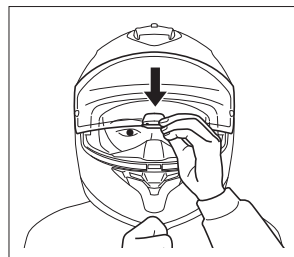
● チンカーテンの取り付け

- ① チンカーテンとヘルメットの中心を揃えます。
- ② 縁材をシェルとライナーの間に、奥まで差し込みます。

■ シールドの開閉



- シールドの開けかた
片手でヘルメットを軽く押さえながら、もう片方の手でシールドロックを解除し、シールドを押し上げます。

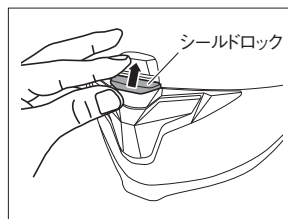


- シールドの閉めかた
片手でヘルメットを軽く押さえながら、もう片方の手でシールドロック部を持ち、「カチッ」と音がするまで下げます。
※シールドについているピンはPINLOCK®シートを取り付けるものです。
PINLOCK®シートはピンロック社の登録商標です。

要 点

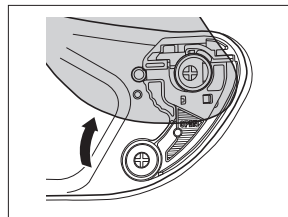
走行中はシールドを閉めることをお勧めします。シールドを完全に閉めないで走行すると、風圧でシールドが開いてしまうことがあります。

■ シールドの取り外し

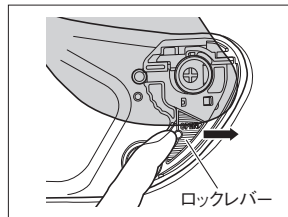


シールドは取り外して清掃することができます。

- ①シールドロックを解除します。



- ②シールドを全開にします。

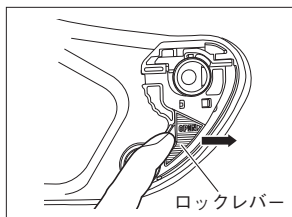


- ③ロックレバーを後側にスライドさせて、「カチッ」と音がしてロックレバーが固定されたことを確認してからシールドを垂直に持ち上げて取り外します。反対側も同じように取り外します。

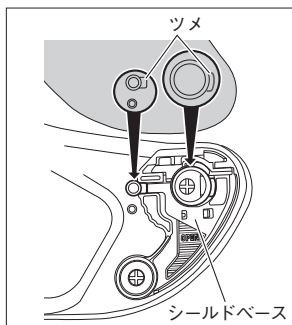
注 意

ロックレバーが解除されていない状態で無理にシールドを取り外すと破損する恐れがあります。ロックレバーは後側いっぱいまでスライドさせて、脱着位置で固定してください。

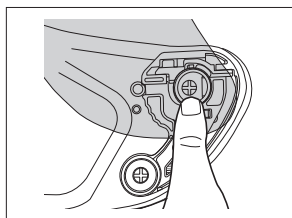
■ シールドの取り付け



- ①ロックレバーを後側にスライドさせ、脱着位置（後側）で固定しておきます。



- ②シールドの2ヶ所のツメとシールドベースを図のように合わせ、はめ込みます。



- ③「ガチャン」という音がして、ロックレバーが固定位置（前側）に移動し、シールドが固定されます。

- ④シールドを繰り返し開閉し、確実に取り付けられているか確認します。

⚠ 警告

ツメがシールドベースにはまっていないと、走行中にシールドが外れ、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

シールド取り付け後は、シールドの開閉作業を数回繰り返し、ツメが確実にハマっていることを確認してください。

■ サンバイザーの取り扱い

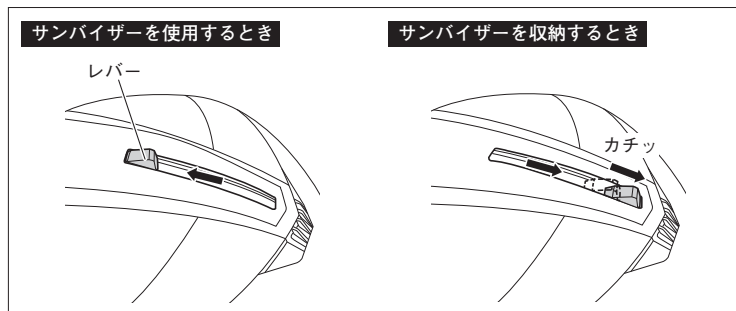
⚠ 警告

- サンバイザーにはシールド機能はありません。シールドを開けて、サンバイザーのみでの走行はしないでください。サンバイザーが割れ、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 運転中にサンバイザーを持って操作しないでください。サンバイザーが外れ、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 夜間、トンネル走行時、雨天時はサンバイザーを使用しないでください。視界不良により思わぬ事故につながる恐れがあります。
- サングラスやスモーク・ミラー加工等を施したシールドと併用しないでください。視界が暗くなり思わぬ事故につながる恐れがあります。

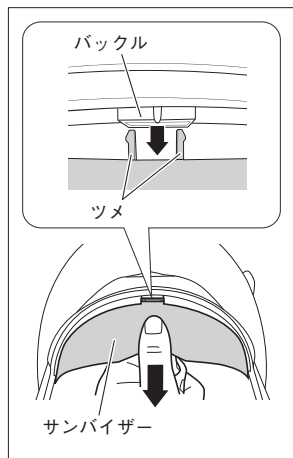
注意

サンバイザーを持って位置の調節をしないでください。サンバイザー機構が破損する恐れがあります。ヘルメット上部にあるレバーを使用してください。

レバーをスライドさせてサンバイザーの位置を調節できます。サンバイザーを収納するときはレバーが「カチッ」と音がするまで後側に最後まで引いてください。



■ サンバイザーの取り外し



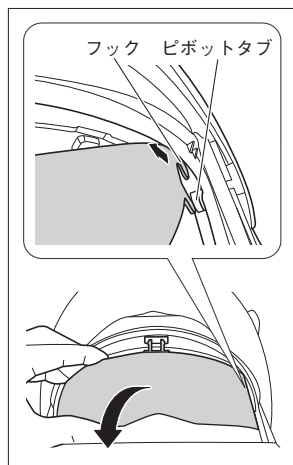
サンバイザーは取り外して清掃することができます。

- ①レバーを前側（サンバイザーが最も下りている位置）にスライドさせます。（P.18参照）

- ②サンバイザーの中央を持ち、バックルからツメをまっすぐ引き抜きます。

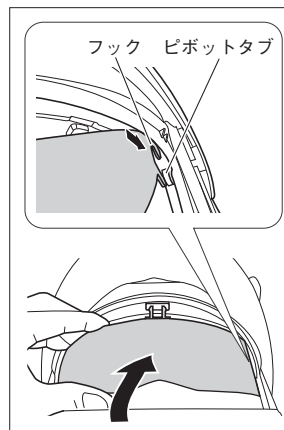
注意

引き抜くときは少しずつ力を加えて慎重に作業してください。瞬間的に強い力で引き抜くとツメが破損する恐れがあります。



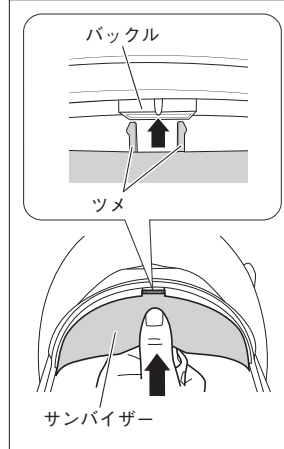
- ③サンバイザーの両側にあるフックをピボットタブから引き抜きます。

■ サンバイザーの取り付け



- ①レバーを前側（サンバイザーが最も下りている位置）にスライドさせます。（P.18参照）

- ②サンバイザーの両側にあるフックをピボットタブに引っ掛けます。



- ③サンバイザーの中央を持ち、レバーを前側位置から動かないように押さえながらツメをバックルにまっすぐ差し込みます。

- ④サンバイザーを動かして確実に取り付けられていることを確認します。

警告

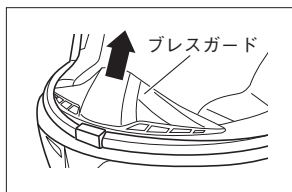
サンバイザーが正しく取り付けられていないと、走行中にサンバイザーが外れ、思わぬ事故につながる恐れがあります。

サンバイザー取り付け後は、サンバイザーの開閉作業を数回繰り返し、フック及びツメが確実にハマっていることを確認してください。

注意

サンバイザーに指紋などの汚れがついたときは、湿らせたやわらかい布でやさしくふいてください。

■ プレスガードの取り外し



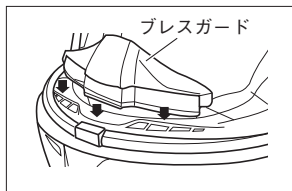
プレスガードは取り外して清掃することができます。

プレスガードをつまんで引き抜きます。

要 点

プレスガードを洗うときは、薄めた中性洗剤を使用し、柔らかい布でふき取ってください。

■ プレスガードの取り付け



プレスガードとフロントベンチレーションの中心位置を合わせ、差し込みます。